

あらかわ



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

荒川区議会は持続可能な開発目標
(SDGs) を支援しています。

区議会だより

NO.
297

Arakawa City Assembly Report

令和8年(2026年)8月2日

令和8年度定例会 6月会議号

YouTube



ホームページ



都電荒川線とまちやアベニュー

令和8年度6月会議

■議員12名による一般質問を実施

■議案12件を可決

令和8年度荒川区議会定例会・6月会議は、6月23日から7月8日までの16日間の会議期間で開かれました。

6月23日、24日の本会議では、12名の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました。

(一般質問の詳細は2～9ページに掲載しています。)

6月会議では、議員から議案1件と区長から議案11件が提出され、いずれも原案どおり可決しました。

(各議案の審議結果は14ページに掲載しています。)



▲6月会議の様子

議員表彰

■全国市議会議長会 議員表彰（35年在職議員、15年在職議員）

5月27日に開催された、第102回全国市議会議長会定期総会において、同会の表彰規定に基づき、荒川区議会から4名の議員が表彰されました。

【35年在職議員】並木 一元 議員

斎藤 泰紀 議員

【15年在職議員】菅谷 元昭 議員

竹内 明浩 議員



▲表彰者前列左から
竹内議員 斎藤議員 並木議員 菅谷議員



(一般質問要旨) * 6月23日・24日の本会議にて、一般質問が行われました。
* 二次元コードから一般質問の動画が視聴できます。

問 = 議員からの質問 **答** = 区からの答弁 **その他** = その他の質問項目



茂木 弘

(自民党)



■ 学校建て替えに伴う課題について

問

学校の建替えに伴い、体育館や校庭等の利用や生涯学習センターを利用している団体の活動場所の確保については、区の責任で探すべきである。工事手法を工夫し、利用者が校庭や体育館を利用できるよう検討すべきと考えるが、区の見解を問う。

答

利用者や学校と意見交換をし、利用者の活動場所の確保、手続きの簡素化、運用の統一化、既存と新規の団体との調和等、公平で効率的な仕組みを構築し、地域の拠点として愛される場となるよう検討を進める。

問

生涯学習センターは多くの場所が区民の活動場所となっている。事業の内容によっては、複数の場所を使用して大規模なイベント等の事業を行うこともあり、そのような団体が引き続き円滑に事業を実施できるよう、配慮すべきと考えるが、区の見解を問う。

答

生涯学習センターの機能の移転後も、各利用団体が引き続きイベントを開催することができるよう、新たな施設の活動スペースに加え、校庭や体育館をあわせて使用することについて、調整を進めていく。

■ 外郭団体の全体の見直しについて

問

現在の外郭団体にはそれぞれ改善すべき課題がある。経費節減の努力や区からの補助金に頼らない団体運営及び自主事業による収入の確保、外部業者との連携、存在意義等について、課題の中には結論を出すべきものもあると考えるが、区の見解を問う。

答

外郭団体の課題と今後について、プロジェクトチームによる検討を進め、より効果的・効率的な取り組みに繋げるとともに、自主財源の拡大や質の高いサービスの提供に向けた取り組みについても支援していく。

問

新庁舎整備の際には、外郭団体を新庁舎に配置することで、庁内の連携強化や区民の利便性向上、重複する事業見直しができる。また、区が目が届くことで、団体の改革が進むことにもつながると考えるが、区の見解を問う。

答

外郭団体を庁舎内に配置することについては、新庁舎に必要な機能の選定や配置計画を検討していく中で、必要性や庁舎全体の機能配置とのバランスを総合的に勘案し、様々な可能性を探りながら検討していく。

その他

- 障がい者支援について
- 質の高い行政サービスを担う人材の確保
- 三河島、西日暮里の再開発について



大月 健弘

(ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属))



■ スタートアップを含むすべての企業の持続的な成長支援について

問

区は創業後支援の強化や大学・金融機関とのネットワーク形成を進める方針を示しているが、スタートアップ・既存企業の継続的な成長支援についての区の見解を問う。

答

起業支援から成長支援、既存企業の持続的発展までを一体的に支え、「スタートアップも、地域企業も、あらゆる企業が持続して成長できる街」となるよう取り組んでいく。

■ DX推進に関わる進捗確認とシステムセキュリティ向上について

問

脆弱性を見つける能力が非常に長けているAIモデル「クロード・ミュトス」に対する区の認識と、システムセキュリティ対策強化のための調査について、区の見解を問う。

答

サイバー攻撃の脅威に対し、ソフト・ハード両面の対策を強化しており、今後も常に最新の情勢を踏まえたセキュリティ対策を実施し、信頼されるシステム管理に努めていく。

その他

○あらかわ遊園収支改善に向けたロイヤリティ(固定客)向上及び包括監査報告に対応した施策について



菊地 秀信

(公明党)



■ 私立学校に通う児童生徒への給食費相当支援について

問

子どもに関する支援は学校種別ではなく、子どもに着目して行われるべきであるが、私立学校等の児童生徒が給食費無償化の対象外である現状について、区の見解を問う。

答

私立学校への進学は、各家庭の価値観等を踏まえた選択で、区立小中学校とは保護者負担のあり方も異なるため、支援の範囲は様々な視点から慎重な検討が必要と考えている。

■ 子どもプール跡地の活用に伴う地元商店街への支援について

問

あらかわ遊園スポーツハウス増築工事に伴い、地域団体や商店街が主体的に取り組むイベントや活動を継続・発展できるよう、どのように支援を行うか、区の見解を問う。

答

荒川遊園の有料エリア内を活用いただけるようにし、園内で大型イベント等を実施する際には、可能な限り商店街や地域団体の皆様にお声かけを行い、地域活動を後押しする。

その他

○物価高騰対策と区民生活支援
○ユニセフ「子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)」への参加
○荒川遊園の収支改善と区民サービスの向上



北村 綾子

(共産党)



■ 子育て世帯、子どもと若者への支援について

問

長期休業期間中、学童クラブで手配される昼食の単価を抑えるため、事業者に対し助成を行い養育者の負担を軽減し、学童クラブを利用しない子どもにも昼食を提供すること。

答

弁当宅配は学童クラブを利用する保護者の負担軽減を目的とし、利用しない児童への実施は想定していない。費用負担軽減については、所得等に応じた減免措置を行っている。

問

高等学校、高等専門学校の進学予定者に向けた荒川区奨学資金と同等かそれ以上の支援を大学や専門学校などの高等教育を受ける方々にも行うこと。また、金利が上がる中での奨学金の返済に苦しむ若者向けに支援を行うことを求める。

答

高等教育への支援については国の動向を注視し、支援策について調査研究を進める。若い世代に対する奨学金返済の支援については、国に対して要望しているところであり、引き続き国に対応を求めている。

その他

- 続く物価高騰から区民と区内事業者を守るために
- 健康で文化的に住まう権利の保障について



鬼頭 あきゆき

(立憲民主党)



■ ごみ集積場の散乱について

問

地域住民の生活に最も身近な公共空間の一つであるごみ集積所を清潔で快適な環境に維持し、地域の負担を軽減していくためにカラス被害対策のさらなる充実が必要と考えるが、区の見解を問う。

答

これまでのカラス対策を継続しつつ、被害の減少を図るため、今後も他自治体などの対策を参考に研究を重ね、地域と連携しながら集積所の環境衛生の向上に努める。

■ デジタルお買い物券について

問

デジタルお買い物券の導入にあたり、デジタルに不慣れな方々へのフォローアップ体制、来年度以降の事業継続、また、デジタルに対応したお店を増やすための対策について区のことを問う。

答

デジタルに不慣れな方々へのフォローアップ体制の構築に努め、事業効果や課題検証により来年度以降の継続に向けて検討する。また、関係団体と連携し、区のデジタル化推進に努める。

その他

- 若者の町会加入について



鎌田 理光

(自民党)



■ 教育施策について

問

特別な支援を必要とする児童生徒の数は年々増加しており、自閉症・情緒障がい特別支援学級を区独自に設置することの必要性和緊急性が年々高まっていると考えるが、設置についての具体的な検討状況と開設に向けた見通しについて、区の見解を問う。

答

現在、自閉症・情緒障がい学級の開設に向け、教室の確保、具体的な仕組みづくり、先進自治体の事例を踏まえた研究を進めており、今後は、ソフト・ハード両面を整え、3年以内の学級設置・開設を目指す。

問

災害時における児童生徒の安全確保と保護者の負担軽減の観点から、今後の台風等の接近時においては、より早期の段階で判断を行う仕組みへと改めるべきであり、その際はオンライン授業を積極的に実施すべきと考えるが、区の見解を問う。

答

気象情報、鉄道状況、保護者の就業環境や学童クラブ運営事業者への影響なども考慮し、前日までに判断することを原則に検討を進め、休業の際のオンライン授業の実施体制を整え、学びの環境を保障する。

■ 更なるごみの減量について

問

昨年10月から始まったプラスチック回収について、この間のプラスチック回収量やごみ減量効果、課題を確認するとともに、今後のプラスチック回収の更なる推進についてどのように取り組んでいくのかを問う。一方、「雑がみ」の分別はうまくいっていない印象があり、「雑がみ」がリサイクル可能な古紙ではなく可燃ごみとして出されてしまう大きな理由の一つが、分別のわかりにくさにあると思われるため、今後は更なる周知啓発に力を入れるべきと考えるが、区の見解を問う。

答

プラスチック回収によるごみ減量効果については、前年度比で可燃ごみ量が約7%の減量につながった一方で、資源化可能なプラスチックが可燃ごみの中に依然として多く混入していたことから、引き続きわかりやすい分別方法の周知や啓発を行っていく必要がある。「雑がみ」についても、混入が非常に多い資源物であるため、リサイクル可能な資源であることや、その具体的な種類や分別方法について改めて認識してもらい、分別に取り組んでいただくための効果的な施策を様々な手法により講じていく。

その他

- 外国人の子供を含む児童の安全確認調査について
- 防災施策について
- 自転車の青切符の開始に伴う状況と今後の対策について



清水 啓史

(ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属))



■ 教育立区 荒川区について

問

「教育立区荒川区」を掲げ、教育環境の充実や学力の向上に向けて取り組むこと、あわせて区のイメージアップにつながるよう、発信していくことについて区の見解を問う。

答

今後は学校の建替えに合わせて教育環境や教育の質が更に向上するよう取り組むとともに、区の魅力となる「教育の荒川区」をシティプロモーションとして広く発信していく。

■ 補助90号線計画(※)を軸にした、エリアとしての整備について

問

補助90号線計画は、明治通りから町屋駅前までを一带としたエリアの視点・認識を持って整備すべきと考えるが、区の見解を問う。

答

補助90号線やこれに沿った緑道、及び両側の荒川自然公園やゆいの森などを面的に捉え、地域全体の魅力向上に資する、トータルデザインされた街づくりを進めていく。

(※) 補助90号線：現在整備中の都市計画道路。明治通りからサンパール荒川、自然公園、ゆいの森を経由して町屋駅前を通過する。

その他

○マンション管理組合への支援について



松田 智子

(公明党)



■ 雨水の利用促進策

問

学校の建替えや区役所新庁舎の整備にあたり、他自治体の先行事例を参考に水資源の有効利用を図り、雨水を災害時のトイレ洗浄水や生活用水に活用する施設を設置すべきと考えるが、区の見解を問う。

答

今後の新庁舎整備や、学校建替えに際し、平時や災害時の雨水の活用方法を想定しながら、施設ごとの必要量や費用対効果などについて検証を行い、調査研究を進めていく。

■ リンパ浮腫治療の充実

問

ガンの治療後に発症する「続発性リンパ浮腫」について、理解促進及び区の購入費助成制度の広報活動と区内医療機関に対してリンパ浮腫患者を受け入れてもらうよう働きかけを行うことを求める。

答

ホームページやがんに関する講演会等、様々な機会を捉えて理解促進に努め、今後の医療提供体制の動向を注視しつつ、医師会を通して区内医療機関へ働きかけを行っていく。

その他

○区内中小企業・事業者等への中小企業診断士等による巡回相談の実施



相馬 ゆうこ

(共産党)



■ 区内産業を支え発展させるため平和主義をつらめく区長の決意を問う

問

戦争できる国づくりが進む中、平和都市を宣言している自治体として、区内産業の発展を支えていく上で、憲法に基づいた平和主義を貫く決意を述べることを求める。

答

安定した経済活動や活力あるまちづくりは、平和な生活の下に成り立ち、「平和都市宣言」「人権推進指針」に基づき、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を進めていく。

■ 安心・安全の教育環境の整備として名前のゼッケンの見直しを求める

問

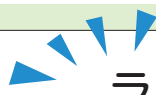
防犯の観点から、学校の体操着や水着の名前のゼッケンについては不安の声が寄せられており、ゼッケンが本当に必要か現場の意見を聞き、見直しの検討をすることを求める。

答

名札等の着用によるリスクを低減するための見直しがされている一方、名札等には教育活動上の必要性もあり、運用の実態を精査し、どのような工夫が可能か研究していく。

その他

○住民自治、団体自治にもとづき、マイナンバーカードの運用見直しを



ライブ配信もあります！

本会議及び委員会の音声をYouTubeでライブ配信しています。

視聴方法

- ・ **STEP 1** 会議当日、荒川区議会YouTubeチャンネルにアクセスしてください。
- ・ **STEP 2** 「ライブ」の表示が出ている動画を選択してください。
- ・ **STEP 3** 会議の開始時刻から音声流れます。

※荒川区議会YouTubeチャンネルは、表紙の二次元コードからアクセス可能です。

※同YouTubeチャンネル及び荒川区議会ホームページでは、過去の会議の映像や音声も視聴することができます。



▲荒川区議会YouTubeチャンネル



宮本 舜馬

(ゆいの会(都民ファースト・
国民民主・あたらしい党・無所属))



■ 荒川区の子育て支援政策は何を目指すのか

問

荒川区が子育て世代から選ばれていくためには、需要に裏付けられた攻めの政策展開が必要である。区は子育てナンバーワンを目指すのか、あるいは、オンリーワンとして何かに特化するのか、子育て支援政策で何を目指すのか、区の見解を問う。

答

すべての子どもが健やかに成長できる環境を整え、保護者が安心して子どもを産み育てられる社会を築くことが区の責務であり、子どもの笑顔と家庭の安心を生み出すことを目指し、施策の充実に努めていく。

問

待機児童の発生を防ぐための対応が不十分であり、待機児童が増える形で発生しているのが現状である。区では、待機児童の発生についてどのように考え、解消に向け、定員拡大や移動支援なども含めた検討状況について具体的な見解を問う。

答

送迎バス等による移動支援は、実施において課題があると認識している。待機児童解消に向け、認証保育所や保育ママ等を積極的に周知するとともに、定員を増やすための施策を多角的・具体的に検討している。

問

育児休業給付金の支払いが遅れ、子育てでお金が必要なタイミングに、貯金を切り崩すという不安な生活を強いられるケースが増えていることが社会問題化している。そこで、区が給付金を立て替えて支給することを提案するが、区の見解を問う。

答

育児休業給付金の支給に係る事務や財源は、国の責任において運営されているため、区の立て替え支給は制度上困難であると認識しており、ご相談を受けた場合にも各ご家庭の状況に寄り添い対応していく。

■ 家庭ごみの有料化について

問

家庭ごみ有料化については、区民への説明と現状の確認・整理が必要である。ごみの処理は、現在も区民がそのコストを負担しているが、有料化における区民のメリットとデメリット、有料化した場合に増えるコストについて、区の見解を問う。

答

家庭ごみの有料化は23区で足並みを揃えるべき課題として特別区長会で検証委員会を設置し検討を行っている。ごみの減量等が図られる一方、区民負担が生じるなど様々な課題があるため、コストも含め今後検討を深めていく。

その他

- 動物関係について
- 路上喫煙対策について
- 再開発について
- 路上駐車について



森本 達夫

(公明党)



■ 学力向上を支える「読解力」の強化

問

学力向上を図る上で、読解力は不可欠な要素であり、読解力の健康診断という新たな視点を教育施策に取り入れ、読解力の強化を図るべきと考えるが、区の見解を問う。

答

第五中学校でリーディングスキルテストを取り入れた取り組みを進めており、今後、効果や課題の検証、指導法や成果事例をモデルケースとして他校へ情報共有しながら、調査研究を進める。

■ 花と緑の整備

問

都電とバラという魅力的な資源を活かし、現在の「バラの市」を起点とした、数日から数週間にわたる区民参加型の「バラフェスティバル」への拡充を提案するが、区の見解を問う。

答

「あらかわバラの市」を中心に、関係行事との連動やPRを強化することで、観光資源としての付加価値の向上と地域活性化に向けて、関係団体等と緊密に連携しながら取り組んでいく。

その他

○ラングウッド地下二階の有効活用



増田 峰子

(公明党)



■ 若者支援について

問

子ども・若者課が創設されたことは、区が若者支援の充実に向けて大きく一步を踏み出したものとして高く評価するが、その役割と重要性について、区の認識を問う。

答

子ども・若者課では、若者を取り巻く環境変化や新たなニーズを丁寧に把握し、様々な社会資源を子どもから若者への成長過程における個々の状況に応じて組み合わせ、支援に繋げていく。

■ 公衆浴場への経営支援対策について

問

原油価格の上昇や物価高騰の長期化により中小企業が厳しい状況にある中、地域に欠かすことのできない公衆浴場に対し、実態をふまえたエネルギー費支援の補助拡充の検討を求める。

答

設備改善補助金及び燃料費の補助を中心とした支援を行い、今後も安定して事業が継続できるよう、燃料価格の推移等を把握し、公衆浴場組合の意向も踏まえながら、対応していく。

その他

○猛暑対策について

議会運営委員会

菅谷元昭 委員長



6月3日

◆6月会議について

- ①6月会議・初日の開会日について
- ②議案の提出について
- ③6月会議の会議期間について
- ④一般質問等の締切日について
- ⑤提出議案説明のための委員会開会について
- ⑥6月会議の会議期間に係る日程について

6月23日

◆6月会議について

- ①追加議案の提出について
- ②東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について
- ③6月会議の会議期間について
- ④議事日程について
- ⑤一般質問について
- ⑥6月23日の本会議の議事の取り扱い及び順序について
- ⑦6月24日の本会議の議事の取り扱い及び順序について

7月8日

◆6月会議の最終日について

- ①議事日程について
- ②本会議の議事の取り扱い及び順序について
- ③6月会議の終了について

◆今後の議会日程について

◆行政視察について

総務企画委員会

茂木 弘 委員長



6月5日

◆委員会所管の組織及び分掌事務について

◆議案の提出について

- ①荒川遊園D地区公園整備工事請負契約について
- ②財産の取得（災害用トイレ等）について
- ③包括外部監査契約の締結について

◆所管事項調査

- ①区内外の所管施設調査について
- ②行政視察について

◆委員会付託事項

- ①請願・陳情について

◆常任委員会定例日について

6月25日

◆付託された議案について

- ①荒川遊園D地区公園整備工事請負契約
- ②財産の取得（災害用トイレ等）について
- ③包括外部監査契約の締結について
- ④令和8年度荒川区一般会計補正予算（第2回）



▲荒川遊園D地区整備イメージ

文教・子育て支援委員会

鎌田理光 委員長



6月8日

- ◆委員会所管の組織及び分掌事務について
- ◆議案の提出について
- ◆所管事務事業説明
 - ①幼稚園等の通園状況について
 - ②荒川区の保育の状況について
 - ③令和8年度区立幼稚園等・小中学校の就学状況について
 - ④放課後児童事業の実施状況について
- ◆所管事項調査
 - ①区内外の所管施設調査について
 - ②行政視察について
- ◆委員会付託事項
 - ①請願・陳情について
- ◆常任委員会定例会日について

6月29日

- ◆付託された議案について
 - ①荒川区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例
 - ②荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例
 - ③荒川区幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
 - ④措置費共同経理課を共同設置する特別区の数の増加及び児童相談所を設置する特別区における措置費共同経理課の共同設置に関する規約の変更について
- ◆区外所管施設調査について

福祉・区民生活委員会

松田智子 委員長



6月5日

- ◆委員会所管の組織及び分掌事務について
- ◆議案の提出について
 - ①荒川区特別区税条例の一部を改正する条例について
- ◆所管事務事業説明
 - ①防犯対策の今後の充実について
- ◆所管事項調査
 - ①区内外の所管施設調査について
 - ②行政視察について
- ◆委員会付託事項
 - ①請願・陳情について
- ◆常任委員会定例会日について

6月25日

- ◆付託された議案について
 - ①荒川区特別区税条例の一部を改正する条例
- ◆所管事務事業説明
 - ①令和9年度以降における区民保養所ホテルグリーンパール那須の取扱い（案）について



▲ホテルグリーンパール那須

特別委員会

産業・まちづくり委員会

宮本舜馬 委員長



6月8日

- ◆委員会所管の組織及び分掌事務について
- ◆所管事務事業説明
 - ①地域交通の取組状況について
- ◆所管事項調査
- ◆常任委員会定例日について

6月29日

- ◆所管事務事業説明
 - ①区道及び区立公園等の樹木の状況について

令和8年度から 新たに設置された 委員会を紹介します

■常任委員会

産業・まちづくり委員会

- ・環境清掃部、産業経済部及び防災都市づくり部に関する事項

■特別委員会

観光・シティプロモーション調査特別委員会

- ・観光振興に関すること
- ・シティプロモーションに関すること
- ・観光に係る交通アクセスに関すること

花と緑推進調査特別委員会

- ・花と緑の基本計画に関すること
- ・区の木、区の花に関すること

震災・災害対策調査特別委員会

夏目亜季 委員長



6月10日

- ◆調査研究事項
 - ①「あらBOSAI2026」の実施結果及び「あらBOSAI2027」の実施概要について
- ほか

観光・シティプロモーション 調査特別委員会

菊地秀信 委員長



6月12日

- ◆調査研究事項
 - ①『Pokémon GO』自治体連携事業への参加について
- ほか

財政援助団体調査特別委員会

斎藤泰紀 委員長



6月16日

- ◆調査研究事項
 - ①令和8年度財政援助団体の取り組みについて
- ほか

花と緑推進調査特別委員会

清水啓史 委員長



6月15日

- ◆調査研究事項
 - ①区の木「サクラ」、区の花「ツツジ」の状況について
- ほか

全国の議会が視察に訪れています



5月30日～7月8日の間、7団体が行政視察で来訪されました。
ありがとうございました。

日程	視察受入議会名	主な視察項目
6月15日	 兵庫県神戸市会	荒川区細街路拡幅整備事業について
6月22日	 静岡県御殿場市議会	豊かな心を育む読書のまちづくり条例について
6月26日	 静岡県浜松市議会	ゆいの森あらかわについて
7月 6日	 佐賀県唐津市議会	中学校防災部の取り組みについて
7月 7日	 大阪府守口市議会	高齢者向けeスポーツ交流事業について
7月 7日	 富山県富山市議会	荒川区民総幸福度（GAH）について
7月 8日	 兵庫県小野市議会	防災・防犯カメラネットワークシステム整備の取り組みについて



◀ 浜松市議会様



◀ 守口市議会様



◀ 富山市議会様



令和7年度は33件の視察を受け入れました

件数が多かった視察内容

- No.1 ゆいの森あらかわ・区立図書館・読書のまちづくり関連【13件】
- No.2 中学校防災部【7件】
- No.3 荒川区民総幸福度（GAH）【4件】

全国各地の議会が
視察に訪れているよ



議案の審議結果

令和8年度定例会・6月会議

議案名・議案の説明		会派名・結果 (数字は会派人数)		自 民 党	公 明 党	ゆい の 会 (都民ファースト 主・あたらしい 党・無所属)	共 産 党	立 憲 民 主 党	維 新・子 育 て の 会	結 果
 ◀各議案の概要はこちらから (区議会HP)				11	6	6	5	2	1	
議員提出議案（１件）										
東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について	推薦する者 並木一元議員			○	○	○	○	○	○	可決
区長提出議案（11件）										
荒川区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例	法改正に伴い、満３歳以上限定小規模保育事業に関する基準等を改める			○	○	○	×	○	○	可決
荒川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例				○	○	○	×	○	○	可決
荒川区幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	基準の改正に伴い、主務養護教諭を追加			○	○	○	×	○	○	可決
荒川区特別区税条例の一部を改正する条例	法改正に伴い、軽自動車税のグリーン化特例の２年延長ほか、規定を整備			○	○	○	○	○	○	可決
荒川遊園D地区公園整備工事請負契約	造園、建築、電気・機械設備工事 上園・総合・六創建設共同企業体 契約金額 974,160千円			○	○	○	○	○	○	可決
財産の取得（災害用トイレ等）について	災害用トイレ、蓄電池等購入 (社)東京コロニー 契約金額 241,232千円			○	○	○	○	○	○	可決
児童相談所を設置する特別区における措置費共同経理課の共同設置に関する規約の変更について	新たに児童相談所設置 杉並区			○	○	○	○	○	○	可決
包括外部監査契約の締結について	松石滋樹氏 契約金額 8,418千円（上限）			○	○	○	○	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	推薦する者 池田明子氏			○	○	○	○	○	○	適当との意見
令和８年度荒川区一般会計補正予算（第２回）	子育て施設等への物価高騰対策補助事業を実施 補正額 62,129千円			○	○	○	○	○	○	可決
荒川区監査委員の選任同意について	選任する者 斎藤泰紀議員			○	○	○	×	○	○	同意

○賛成 ×反対 太字は討論のあったことを示す



議案とは？

区議会で審議する事柄は「**議案**」として、区長・議員・委員会のいずれかにより、区議会に提出されます。

提出された議案を審議し、本会議において「可決」「否決」といった区議会としての意思を決定することを「**議決**」と言います。



本会議場 議席図

(令和8年7月8日現在)

議長席

演壇



 山田晴美		(欠番)	 西川浩平		 若林由季		 北村綾子		 相馬ゆうこ
 久家しげる		 鬼頭あきゆき	 鎌田理光	 夏目亜季		 土橋圭子	 小島和男	 斉藤邦子	 横山幸次
 増田峰子		 山口幸一郎	 明戸真弓美		 菅谷元昭		 山本 剛		 花澤昭信
 菊地秀信		 森本達夫		 並木一元		 茂木 弘	 宮本舜馬		 大月健弘
 保坂正仁		 松田智子	 北城貞治		 斎藤泰紀		 清水啓史		 竹内明浩



傍聴席（80席） 車いす用スペース（2席分）

凡例（会派）

維新・
子育ての会

立憲民主党
荒川区議団

公明党
荒川区議会議員団

自由民主党
荒川区議会議員団

ゆいの会
(都民ファースト・
国民民主・あたらしい党・
無所属)

日本共産党
荒川区議会議員団

* 9月会議は、9月14日（月）からの開会を予定しています。